

新人弓道基礎講習会

～競技上のルールについて～

群馬県高体連弓道専門部

弓道の大会でのルール

- 大会要項
- 弓道競技申し合わせ事項について
（全国高体連弓道専門部）
- 全国高等学校体育連盟弓道競技規則

弓道のルールでは大きくわけて3つのルールが適用されている

- ①大会要項
- ②弓道競技申し合わせ事項について(全国高体連弓道専門部)
- ③全国高等学校体育連盟弓道競技規則

ルール違反

- 審判から注意を受ける
- 場合によっては失格
- 同じチームにも迷惑
- 他のチームに迷惑

ルール違反をすることでいいことは一つもない

大会要項

● プログラムに掲載されているので必ず読む

平成28年度 県高等学校弓道春季大会 要項

- 1 主催 群馬県高等学校体育連盟弓道競技専門部
- 2 開催日 平成28年4月23日(土) 男子団体予選決勝・男子個人予選決勝
平成28年4月24日(日) 女子団体予選決勝・女子個人予選決勝
- 3 日程 受付(選手1名+顧問)8:20~8:40・監督会議8:40~・開会式9:00~
*係職員と当番校は8時に集合し準備にあたる。*当番の仕事内容は、プログラム内のマニュアル等を参照すること。
- 4 会場 ヤマト市民体育館前橋弓道場(遠・柔) 前橋市上佐鳥町460番地7 電話027-265-0900
- 5 競技種目 近的競技 的中制 直径36cm震的
- 6 競技種別 男子の部・女子の部
- 7 競技種類 団体戦…男女とも各校2チーム以内 (正選手3・補欠1・補欠戦あり)
個人戦…男女とも制限なし(団体出場選手は団体戦の的中を個人戦の的中とする)
- 8 競技規定 全国高等学校体育連盟弓道競技規則・全国高等学校弓道大会競技運営細則による。
- 9 競技方法 3人立 立射 4射場
団体戦 予選…1チーム12射(各自4射)を行い、女子4中以上男子5中以上が決勝に進出する。
団体戦 決勝…1チーム12射(各自4射)を行い、予選との合計の中により順位を決定する。
→選手の交代は2回認める。第3控えに入るまでに所定の用紙に記入し、監督が本部に届け出ること。
個人戦 予選…各自4射を行い、2中以上を通過とする。
個人戦 決勝…各自4射を行い、予選との合計の中で順位を決定する。
*団体不通過でも予選で2中以上した者は個人戦の対象とする。
*予選で2中以上してないものは団体戦決勝で4射引いたとしても個人順位決定の対象にはならない。
*優勝決定のみ射詰めとする。それ以外は遠近(多人数の場合は複数的使用)で順位を決定。

他のルールよりも優先して適用させるので必ず事前に読んでおく
その大会にのみ適用されるルールも記載されている

弓道競技申し合わせ事項

2. 選手の服装等について
4. 応援について
5. 第3控・第2控・入退場
における選手・監督の心得

全国高等学校体育連盟弓道競技規則を独自の解釈でマナーを疑うような行為がないように注意事項がまとめられている

全国高等学校体育連盟弓道競技規則では詳しく触れられていない

2. 選手の服装等について
4. 応援について
5. 第3控・第2控・入退場における選手・監督の心得
について説明する

2. 選手の服装等について

- 腕などへの書き込み
 - 「弓手押す」「大三しっかり」など
- 弓道衣の袖
 - **まくる 折り曲げる 禁止**
- 髪
 - **髪が肩にかかる場合は結ぶ**
 - **髪が右ほほにかからないようにする**
 - **ヘアピン利用→華美でない・最低限の数量**

髪が右ほほにかかる場合は耳にかける・ピンでとめるなどの対応をする

2. 選手の服装等について

- 胸当て

- **通気穴の模様**がある 使用禁止

通気穴であれ模様があれば無地ではなくなる

4. 応援について

- 迷惑となる応援
 - よーーーーーし 長い拍手 手拍子 奇声
 - **横皆中**の拍手 禁止
- 相手を侮辱する応援
 - **×なのによし**
 - 保護者にも伝えておく
- フラッシュ撮影禁止
 - 必ず保護者にも伝えておく

5. 第3控・第2控・入退場における選手・監督の心得

- 第3控・第2控
 - 静かな環境づくり
 - 不必要な**発声・深呼吸・立ち歩き**・大きな声で挨拶・返事は禁止
- 入場
 - チームへの**かけ声**は禁止
- 退場
 - 退場口付近で対戦相手へのあいさつは禁止
- 足袋濡らし **禁止**

全国高等学校体育連盟 弓道競技規則

- 第 4 条 競技
- 第 7 条 競技時間
- 第 13 条 弓具
- 第 14 条 服装
- 第 15 条 ゼッケン
- 第 17 条 応援
- 第 18 条 禁止事項
- 第 19 条 無効

全国高等学校体育連盟 弓道競技規則について選手にとって重要と思われる規則について説明する

第4条 競技

- 射場入場後に弓具に不都合が生じた場合は交換できる。
- ただし替弓具射場内＋矢番え完了前
→矢番え完了＝右手が腰に戻った時点
→例：矢を番えた際に筈が欠ける
- 持ち矢を**棄権**することができる
 - 棄権する場合は矢を自分の右前に出す

矢番え完了とは弦に筈をかませた後右手が腰に復した時点とする
右手を腰に復さなかった場合はそれに準じた時点とする

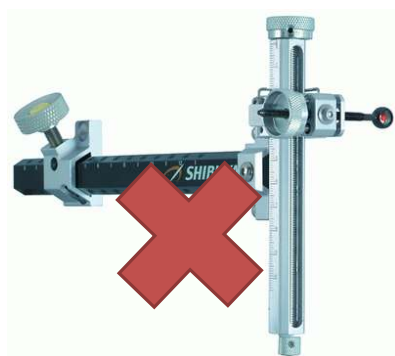
第7条 競技時間

- 5人立
 - 坐射－ 7分30秒予鈴・ 8分本鈴
 - 立射－ **6分30秒**予鈴・ **7分**本鈴
- 3人立
 - 坐射－ 6分30秒予鈴・ 7分本鈴
 - 立射－ **5分30秒**予鈴・ **6分**本鈴
- 自団体の事故→**時間延長**なし
- 個人や競射→時間制限なし

(原則・**弦音打起し**)

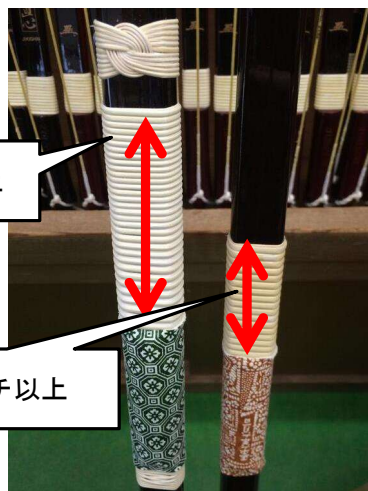
第13条 弓具

- 矢摺籐
- **照準装置・作為的な目印** をつけてはいけない
- 長さは **6 センチ** 以上



6 センチ以上

6 センチ以上



左はアーチェリーの照準器

杉成り・一文字どちらでもよいが6センチ以上

第13条 弓具

●矢

- 長さ→引き込まない
- 太さ→**6ミリ**以上
- 羽→長さ**13センチ～15センチ**
高さ**5ミリ**以上
- 本矧・末矧・筈巻がある

本矧（もとはぎ）

末矧（うらはぎ）

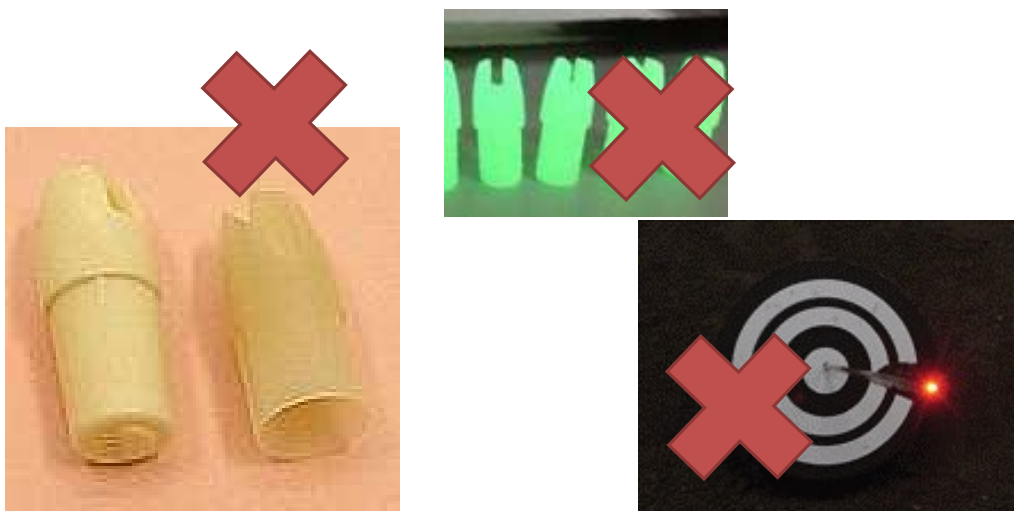
筈巻（はずまき）



第13条 弓具

- 矢

- 筈→埋込式を使う・**蛍光発光**は禁止



左写真の右の筈はかぶせ式なので使用禁止

右上の筈は蛍光塗料なので使用禁止

右下の筈は発光式なので使用禁止

第13条 弓具

- 矢

- 矢尻→**かぶせ式** 平題形or椎実形or円錐形



いたつき
がた

しいのみ
がた

えんすい
がた



以下の3つ以外の形のものは使用していいけない

平題形いたつきがた

椎実形しいのみがた

円錐形えんすいがた

右の角矢尻ははめ込み式なので使用禁止

第13条 弓具

- 矢

- 箆→**印**はつけてはいけない



グラデーションの矢は使えない

第13条 弓具

- 蹠

- **三つ蹠、四つ蹠**あるいは**諸蹠**のいずれかを使用する
- 控、帽子、弦枕がある
- 材質は鹿革とする



ミズノの蹠は鹿革ではないので使用できない

第13条 弓具

- 補助具



- **伝統的な押手補助具のみ使用可能**

→伝統的な押手補助具は、

押手襷（拇指、人差指の2本指と拇指のみの1本指）がある



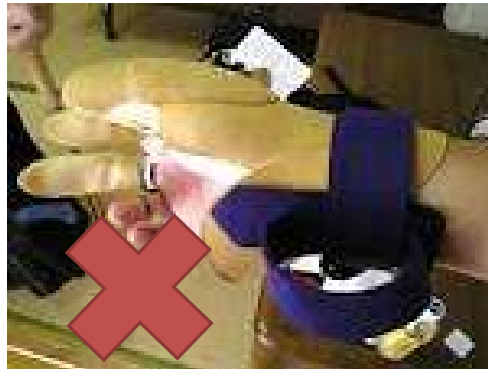
右の写真は親指・人差し指以外の補助具なので使用できない

第13条 弓具

- 包帯・テーピング・キネシオテープ
 - 最低限の使用
 - 手首固定の使用は事前申請が必要
- サポーター
 - **手首は不可**
 - 色→**白・黒・紺・ベージュ**の単色無地

第13条 弓具

- 紐は小さく結ぶ



第13条 弓具

- 弾止め
- 使用禁止



第14条 服装

- 弓道衣・袴・足袋

- 弓道衣・袴・足袋

→ **単色無地・色は各学校で統一**

- 県内大会のみ

- 学校指定の体操着

- 制服

- 白靴下

- ゴム底足袋は使用禁止



県内大会に限り、制服または学校指定の体操着、白靴下で大会に出場できる
県外大会の出場権を獲得したら間に合うように準備

第14条 服装

● アンダー

● **単色・無地**

● **丸首・Vネックのみ**

● 色は**白・黒・紺**...これ以外は各学校で統一

柄→無地でない学校Tシャツはダメ
形→襟付き・ハイネックはダメ
色→各学校で統一していないグレーはダメ



写真は左から

違う色の重ね着だめ

ハイネックだめ

学校で統一していないグレーはだめ

一人だけ白・黒・紺以外の学校統一色のアンダーを忘れた場合はその生徒のみ大会に出場できないか、全員が白・黒・紺のいずれかにするか、全員が揃えられる白・黒・紺以外の色にする

第14条 服装

- 校名・校章・氏名
 - 弓道衣ー片袖のみ
→国スポの参考は右袖
 - 縦横 10 センチ以内
 - 袴ー右腰後
- はちまき
 - 無地・長さは肩まで
 - 校名・校章・氏名・番号のみ可（端のみ）
 - 色は各校で統一

第14条 服装

- 胸当
 - **無地** 校名・校章・その他入れない
→書くときは**裏面**に書く
 - 男子は使用禁止
→道衣の下につけるのは禁止しない
- 装飾類
 - **リボン・ピアス・ミサンガ・ネックレス**など装身具類は禁止
→襪や足袋、道衣で見えなかったとしてもダメ

第14条 服装

- 弓道衣・袴・足袋・アンダー・はちまき
「各学校で統一」について
 - 各学校男女で統一する**必要はない**
 - 個人競技でも統一する**必要がある**

第14条 服装

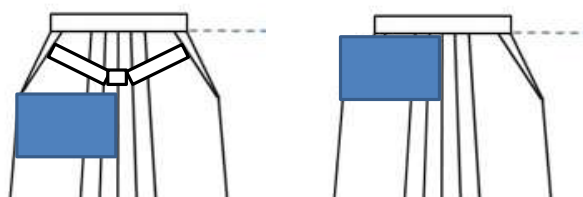
- 監督の服装
 - 上着（ジャケット）の着用
→ 半袖ポロシャツ等も可
 - 短パン・ミニスカートの類は着用しない
 - 素足の入場禁止
→ ストッキング素足と考えソックスを履く

第15条 ゼッケン

- 大きさ
 - 横 **1 8** センチ 縦 **1 2** センチ
- 材質
 - 白の**布**
- 交代
 - 選手交代でゼッケンは**替えない**

第15条 ゼッケン

- しっかり管理
 - 大会途中になくなった事も
- ゼッケンがない場合
 - 出場できない
 - 早めに相談
- 付ける位置
 - **右腰前**



第17条 応援

- 「よし」の矢声と拍手のみ
→手拍子は駄目
- 射技上の指示は禁止
 - 矢所の指示
 - 狙いの指示
 - 口割りの指示
 - 引尺の指示

第18条 禁止事項

- 弓具の共有
 - 同一の立はダメ
 - 競射で同じ立の時は1名のみ引ける
- 弓・矢の照準・目印
- 入場時・射場内での**発声**
- 射場内での**指示**
 - 指示をうける
 - 指示を求める

第19条 無効

- 無効＝その矢のみ「はずれ」
- **矢番え完了後**の弦から筈が外れた矢
- 矢番え完了後とは？

矢番え完了とは弦に筈をかませた後右手が腰に復した時点とする
右手を腰に復さなかった場合はそれに準じた時点とする

弦がら筈がはずれたかは本人が一番わかっている

→審判に気づかれなければそのまま引いていいのか

→審判が気づいてくれなかった場合は持ち矢を棄権するのがいいのか

地域の射会では弦から筈が外れても引いていいといわれることはあるかもしれないが

第19条 無効

- 打起し後の引き直し
 - びくりは？
- 追い越し発射
 - **追い越した矢**が無効
- 時間切れ
 - 本鈴と同時発射も **無効**

引き直し、追い越し発射、時間切れは本人には判断できない各審判により判断され無効が宣言される

引き直しは自分で意識的にしている人もいるかもしれないが

その他（弓道場の使用）

- 玄関に下足を置いたままにしない
- ぐんま武道館下駄箱使用禁止（練習試合・個人利用は除く）
→ビニール袋を準備する
- 食事は控え室で行う
- 控室や応援席での
ゲーム・トランプは禁止
- 応援は譲り合って
- 競技中は静かにする
- トイレのサンダルは揃える
- ゴミは持ち帰る
- 矢取用のサンダル使用後は下駄箱に戻す

終わりに

- 知らなかったはもう通らない
- 決められたことはしっかり守る
- 周りに迷惑をかけない
- 円滑に大会が進む

自分自身が弓を引くことに
集中できる環境になっていく